

表-6.10.2(5) 変更区域内において確認された重要な種の生息状況に基づく変化の程度の検討 (河川水生生物) (その1)

++:2~10個体未満 +++:10~100個体未満 ++++:100個体以上

No.	分類 和名	国外、国内、沖縄県での分布状況 (亜種については同一亜種の分布情報)			石垣島内における生息状況		注5 現空港予定地関連調査			注6 重要な種の分布及び生息状況の変化の程度	指定及び選定状況				
		注1 国外	注2 国内	注3 沖縄県	注4 石垣島内	注5 石垣島内での 生息状況 ランク	注6 変更区域内		合計		法的 規制	その他			
							調整 池	ゴルフ 場				注7 天然 記念物	注8 環境 省	注9 沖縄 県	注10 WWF
1	サキシマヌマエド (琉球列島固有種)	-	沖永良部以南?	久、宮、石、与	広範に生息するものと推定される。宮良川・轟川周辺では局所的(宮良川上流部のみ)。個体数は少ないと推定される。	B	++		+++	+++			準	希少	
2	オオヒライソガニ	中部太平洋、インド洋沿岸	相模湾～八重山	琉	広範に生息するものと推定される。島内全域(轟川、通路川、水田等)で観察された。個体数は普通と推定される。	C	++++	+++	+++	++++					希少
3	ヤエヤマサワガニ (八重山諸島固有種)	-	-	石、西	広範に生息するものと推定される。島内全域で観察された。個体数は普通と推定される。観察河川では普通にみられた。	C	++++	+++	+++	++++			準	希少	
4	ミヤギサワガニ (八重山諸島固有種)	台(近年別種扱い)	-	石、西	広範に生息するものと推定される。個体数は普通と推定される。調査区域内の沢で普通に見られた。	C	+++		++	+++			準	希少	
5	ヤエヤママダガニ (八重山諸島固有種)	-	-	石、西	広範に生息するものと推定される。島内全域で観察された。個体数は普通と推定される。観察地では普通にみられた。	C	+++	++		+++			準	希少	
6	ムラクモカノコガイ	台	小笠諸(絶滅?)、奄美大島	沖、久、石、西、与	広範に生息するものと推定される。個体数は少ない。県内に広範に分布し、海流分散を行う種である。沖縄島では個体数は少ないながら各所で観察される。	B	+++		+++	+++					危険
7	オカイシマキガイ	台?	小笠諸(絶滅?)、奄美大島	沖、久、石、西、与	広範に生息するものと推定される。個体数は少ない。県内に広範に分布し、海流分散を行う種である。沖縄島では個体数は極めて少ないながら各所で観察される。	B	++		++	++					危険
8	コハクカノコガイ	インド-太平洋域	-	沖諸以南(沖、石、与)	局所的に生息するものと推定される。海流分散を行う種であると推定される。	B			+++	+++					絶滅寸前
9	オキナワリスゴマツボ (琉球列島固有種)	-	北琉球	久、中・南琉球	広範に生息するものと推定される。個体数は少ないと推定される。県内に広範に分布する種である。沖縄島では個体数は少ないながら各所で観察され、場所によっては多い。	B	+++	++++		++++			準		